

ま え が き

高等専門学校は、産業界からの強い要望に応え、実践的技術者を養成する高等教育機関として創設されました。本校はその第一期校 12 校の一つとして昭和 37 年 4 月に開校し、平成 8 年に 2 年制の専攻科が設置され、平成 24 年度には高専制度創設 50 周年を迎えました。本校はこれまで 7,700 名を超える優れた技術力を備えた技術者を世に送り出し、日本国内だけでなく、海外からも高い評価を得ています。

本校にとって 5 回目の発刊となる「自己点検・評価報告書—明石工業高等専門学校の現状と課題—」は、平成 23 年度から 27 年度の本校の諸活動及び管理運営をまとめたものとなります。この間に実施しました主な取組は、キャンパスの整備として、正門及び学生寮 C 寮の改修、また新たに情報メディアセンター、協同学習センター、グローバルエデュケーションオフィス及び国際交流プラザを完成いたしました。文部科学省 GP 事業として大学間連携共同教育推進事業「近畿地区 7 高専連携による防災技能を有した技術者教育の構築」や大学教育再生加速プログラム(AP)「テーマ I (アクティブ・ラーニング)」が採択され、従来の学科の枠組みを超えた教育カリキュラムの新設がなされると共に、外部資金による教育プログラム事業も行われています。加えて、平成 25 年には国立高専のアクティブラーニング推進モデル校の指定を受け、学生の主体性・能動性を高める授業改善を進め、平成 26 年には同じく国立高専のグローバル高専モデル校に指定され、世界中の多様な人々と協働できる資質を身に付けるための取組を行っています。

このたび発刊される「自己点検・評価報告書—明石工業高等専門学校の現状と課題—」は、将来計画・自己点検等委員会（自己点検・評価報告書作成ワーキンググループ）のもとで、先述の本校の取組や今後取り組むべき課題について、本校教職員の協力を得て、とりまとめたものであります。関係各位におかれましては、本報告書にお目通しを頂き、忌憚のないご意見をいただければ幸甚に存じます。

平成 29 年 3 月

明石工業高等専門学校長

笠 井 秀 明